

# 「考え、議論する道徳科の授業」の充実に向けて

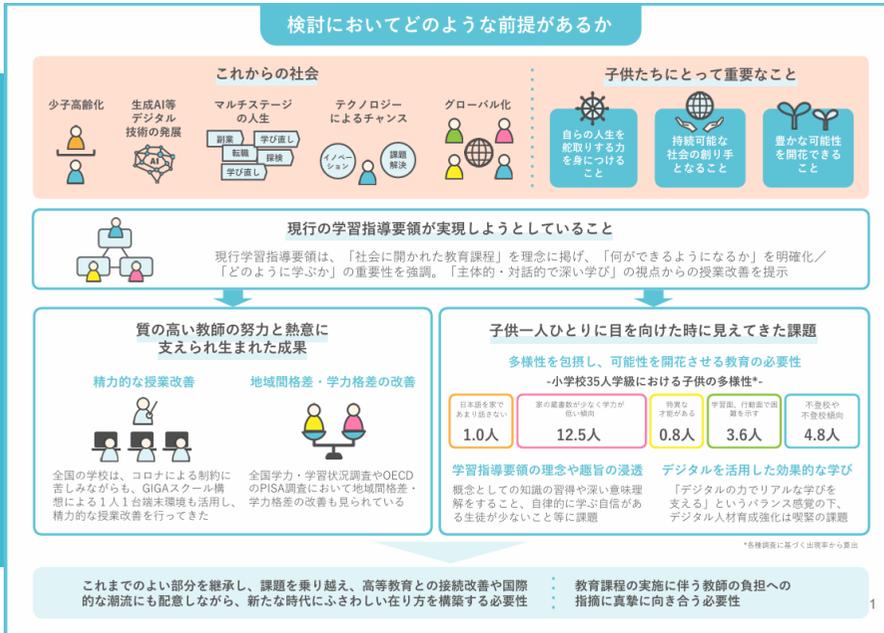
令和7年8月3日9:05~10:05  
国立教育政策研究所教育課程調査官  
文部科学省初等中等教育局教科調査官  
大平 剛生

## 学習指導要領の改訂

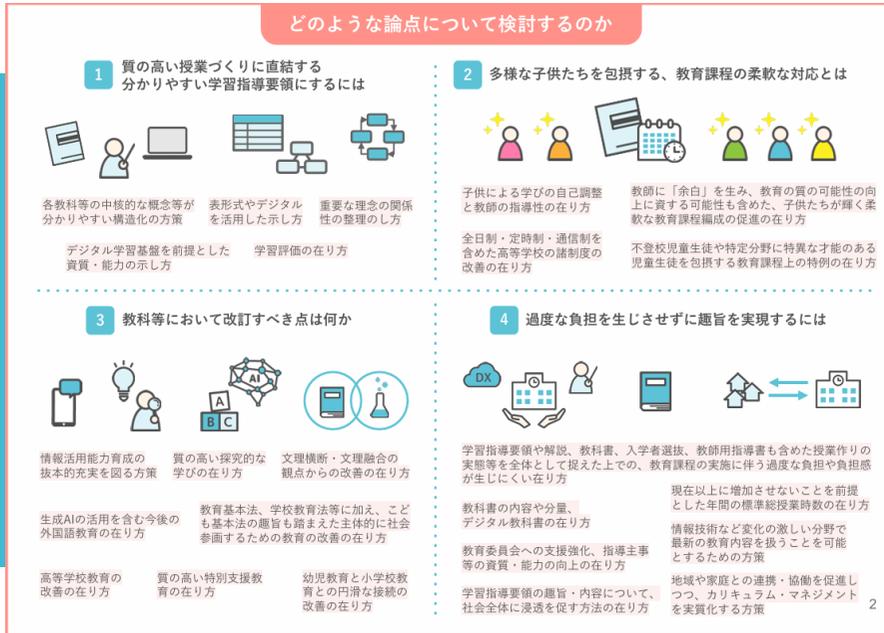
令和6年12月25日  
中央教育審議会諮問

### 「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」

## 学習指導要領の改訂



## 学習指導要領の改訂



# 道徳教育の重要性

## 教育基本法 第一条

教育は、（**人格**）の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な（**国民**）の育成を期して行われなければならない。

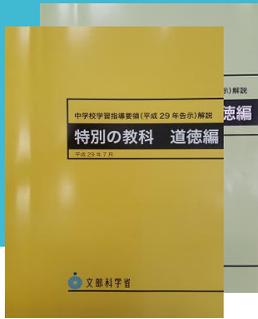
## 第1章 総説

### 1 改訂の経緯

我が国の教育は、教育基本法第1条に示されているとおり「**人格の完成**を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な**国民の育成**を期して行われ」るものである。

人格の完成及び国民の育成の基盤となるものが**道徳性**であり、その道徳性を育てることが学校教育における**道徳教育の使命**である。

(小・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編)



# 道徳教育の目標

## 教育基本法 第二条（教育の目標）

教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。  
一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と**道徳心**を培うとともに、健やかな身体を養うこと

学校における道徳教育は、**特別の教科である道徳（以下「道徳科」という。）を要として学校の教育活動全体を通じて行う**ものであり、道徳科はもとより、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、生徒の発達の段階を考慮して、適切な指導を行うこと。

道徳教育は、**教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の（中：人間としての）生き方**を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共に**よりよく生きるための基盤**となる**道徳性**を養うことを目標とすること。

(小・中学校学習指導要領)



# 道徳教育の目標

## 小学校

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、**自己の生き方**を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共に**よりよく生きるための基盤**となる**道徳性を養うこと**を目標とすること。

## 中学校

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、**人間としての生き方**を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共に**よりよく生きるための基盤**となる**道徳性を養うこと**を目標とすること。

## 高等学校

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、**人間としての在り方生き方**を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共に**よりよく生きるための基盤**となる**道徳性を養うこと**を目標とすること。

道徳性を養う = 道徳教育の目標 = 全校種共通

# 小・中・高の道徳教育の目標

# 道徳科の設置



## 道徳科の設置

### 量的課題

- ⇒歴史的経緯に影響され、いまだに**道徳教育そのものを忌避しがちな風潮**がある。
- ⇒**他教科等と比べて軽んじられ**、他の教科等に振り替えられていることもあるのではないかと。

年間35単位  
時間が確実に確保される  
**量的確保**

### 質的課題

- 教員をはじめとする**教育関係者にもその理念が十分に理解されておらず、効果的な指導方法も共有されていない。**
- 地域間、学校間、教師間の差が大きく、道徳教育に関する理解や道徳の時間の指導方法にばらつきが大きい。
- **授業方法が、読み物の登場人物の心情を理解させるだけなどの型にはまったものになりがちである。**
- 学年が上がるにつれて、**道徳の時間に関する児童生徒の受け止めがよくない**状況にある。

子供たちが道徳的価値を理解し、これまで以上に深く考えてその自覚を深める  
**質的転換**

小学校  
中学校

## 道徳科の設置

### ○平成27年3月 小・中学校学習指導要領の一部改訂等

**道徳の時間を「特別の教科 道徳」として位置付け、多様で効果的な道徳教育の指導方法へと改善**  
**検定教科書を導入、一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価を充実** など

#### 具体的なポイント

- ☑ 道徳科に検定教科書を導入
- ☑ 内容について、いじめの問題への対応の充実や発達段階をより一層踏まえた体系的なものに改善 「個性の伸長」「相互理解、寛容」「公正、公平、社会正義」「国際理解、国際親善」「よりよく生きる喜び」の内容項目を小学校に追加
- ☑ 問題解決的な学習や体験的な学習などを取り入れ、指導方法を工夫
- ☑ 数値評価ではなく、児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握

**「答えが一つではない課題に子供たちが道徳的に向き合い、考え、議論する」道徳教育への転換により、児童生徒の道徳性を育む。**

小学校は平成30年度、中学校は平成31年度から、検定教科書を導入して「道徳科」を実施（令和7年度で小学校8年目、中学校7年目）

小学校  
中学校

## 道徳科の目標

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる**道徳性を養うため**、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（中：広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（中：人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

⇒道徳的諸価値についての理解を基に、

⇒自己を見つめ、

⇒物事を（中：広い視野から）多面的・多角的に考え、

⇒自己の（中：人間としての）生き方についての考えを深める

学習を通して、 **道徳的な判断力  
道徳的心情  
道徳的実践意欲と態度** を育てる

## 道徳科の目標

道徳的諸価値についての理解を基に、（小学校）

- ⇒ 特定の道徳的価値を絶対的なものとして指導したり、本来実感を伴って理解すべき道徳的価値のよさや大切さを観念的に理解させたりする学習に終始することのないように配慮する

**価値理解** 道徳的価値はよりよく生きる上で大切なことである

**人間理解** 道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなど

**他者理解** 道徳的価値を実現したりできなかったりする場合の感じ方や考え方は多様である

自己を見つめ、

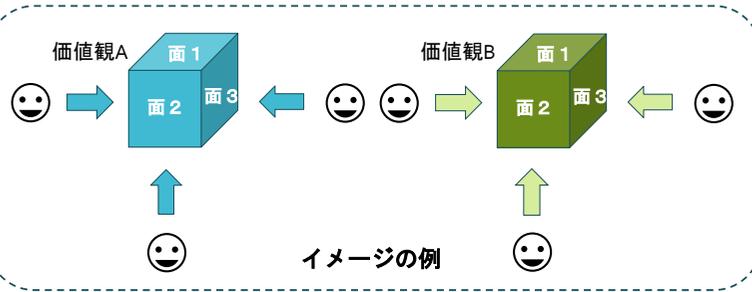
小学校 ⇒ 自分との関わり、つまりこれまでの自分の経験やそのときの感じ方、考え方と照らし合わせながら、更に考えを深めることである。

中学校 ⇒ 様々な道徳的価値について、自分との関わりも含めて理解し、それに基づいて**内省**することが求められる。

# 道徳科の目標

物事を（中：広い視野から）多面的・多角的に考え、

- ⇒ 多様な価値観の存在を前提にして
- ⇒ 諸事象の背景にある道徳的諸価値の多面性に着目させ、それを手掛かりにして考察させて、様々な角度から総合的に考察する



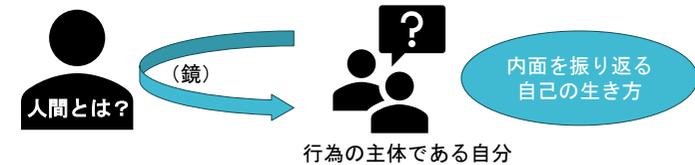
- 中学校 ⇒ 人間の幸福と社会の発展の調和的な実現を図ることに対応していく
- ⇒ 物事の本質を考え、そこに内在する道徳的諸価値を見極めようとする

# 道徳科の目標

自己の（中：人間としての）生き方についての考えを深める

- 小学校 ⇒ 自分自身の体験やそれに伴う感じ方や考え方を想起する。
- ⇒ 道徳的価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止める。
- ⇒ 他者の多様な感じ方や考え方に触れることで身近な集団の中で自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己を深く見つめる。
- ⇒ これからの生き方の課題を考え、それを自己の生き方として実現していこうとする思いや願いを深める。

- 中学校 ⇒ 人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるかという人間としての生き方を模索し始める時期
- ⇒ 自らの生きる意味や自己の存在価値に関わることについて考える
- ⇒ 人間とは何かという問いから、生き方についての探求が始まる
- ⇒ 人間についての深い理解と、これを鏡として行為の主体としての自己を深く見つめることとの接点に、生き方についての深い自覚が生まれていく



学習を通して、

イメージの例

# 道徳科の目標

道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

## 道徳的判断力

- ▶ それぞれの場面において善悪を判断する能力
- ▶ 人間として生きるために道徳的価値が大切なことを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが望まれるかを判断する力

## 道徳的心情

- ▶ 道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情
- ▶ 人間としてのよりよい生き方や善を志向する感情

## 道徳的実践意欲

- ▶ 道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き

## 道徳的態度

- ▶ 具体的な道徳的行為への身構え

※価値があるとされた行動をとろうとする傾向性

# 道徳科の目標

道徳性を構成する諸様相

## 道徳的判断力

## 道徳的心情

## 道徳的実践意欲

## 道徳的態度

## 道徳性

人間としてよりよく生きようとする人格的特性

道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践することができるような内面的資質

# 道徳科の内容

小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
19項目	20項目	22項目	22項目

- A 主として **自分自身** に関すること
- B 主として **人との関わり** に関すること
- C 主として **集団や社会との関わり** に関すること
- D 主として **生命や自然、崇高なものとの関わり** に関すること

- ・児童生徒にとっての対象の広がり即して整理したもの
- ・指導の順序や価値の序列を示しているのではない
- ・四つの視点は相互に深い関連をもっていることに留意する

# 道徳科の内容

小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
19項目	20項目	22項目	22項目
善悪の判断、自律、自由と責任 正直、誠実 節度、節制 個性の伸長 希望と勇気、努力と強い意志 <b>5</b>	善悪の判断、自律、自由と責任 正直、誠実 節度、節制 個性の伸長 希望と勇気、努力と強い意志 <b>5</b>	善悪の判断、自律、自由と責任 正直、誠実 節度、節制 個性の伸長 希望と勇気、努力と強い意志 真理の探究 <b>6</b>	自主、自律、自由と責任 節度、節制 向上心、個性の伸長 希望と勇気、克己と強い意志 真理の探究、創造 <b>5</b>
親切、思いやり 感謝 礼儀 友情、信頼 <b>4</b>	親切、思いやり 感謝 礼儀 友情、信頼 相互理解、寛容 <b>5</b>	親切、思いやり 感謝 礼儀 友情、信頼 相互理解、寛容 <b>5</b>	思いやり、感謝 礼儀 友情、信頼 相互理解、寛容 <b>4</b>
規則の尊重 公正、公平、社会正義 勤労、公共の精神 家族愛、家庭生活の充実 よりよい学校生活、集団生活の充実 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 国際理解、国際観瞻 <b>7</b>	規則の尊重 公正、公平、社会正義 勤労、公共の精神 家族愛、家庭生活の充実 よりよい学校生活、集団生活の充実 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 国際理解、国際観瞻 <b>7</b>	規則の尊重 公正、公平、社会正義 勤労、公共の精神 家族愛、家庭生活の充実 よりよい学校生活、集団生活の充実 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 国際理解、国際観瞻 <b>7</b>	遵法精神、公德心 公正、公平、社会正義 社会参画、公共の精神 勤労 家族愛、家庭生活の充実 よりよい学校生活、集団生活の充実 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 国際理解、国際貢献 <b>9</b>
生命の尊さ 自然愛護 感動、畏敬の念 <b>3</b>	生命の尊さ 自然愛護 感動、畏敬の念 <b>3</b>	生命の尊さ 自然愛護 感動、畏敬の念 <b>4</b>	生命の尊さ 自然愛護 感動、畏敬の念 よりよく生きる喜び <b>4</b>

# 道徳科の内容

小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
19項目	20項目	22項目	22項目

- ⇒ 教師と生徒が共に考え、共に語り合い、その実行に努めるための **共通の課題**
- ⇒ 生徒自らが **調和的な道徳性** を養うためのもの
- ⇒ 道徳的価値を含む内容を、短い文章で平易に表現したもの
- ⇒ 生徒自らが道徳性を養うための **手掛かり** となるもの

※道徳科はもとより、全教育活動において指導するもの

※内容を端的に表す言葉そのものを教え込んだり、知的な理解にのみとどまる指導になつたりすることがないよう十分留意する

# 道徳科の内容

小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
19項目	20項目	22項目	22項目

## ●関連性をもたせる

- ⇒ 必ずしも各内容項目を一つずつ主題として設定しなければならないということではない。
- ⇒ 幾つかの内容を関連付けて指導する。
- ⇒ 内容項目間の関連を考慮したり、指導の順序を工夫したりする。
- ⇒ **焦点が不明確な指導にならないようにする。**



## ●発展性を考慮する

- ⇒ 年間を通して発展的に指導する。
- ⇒ 必要な内容項目を重点的にあるいは繰り返して取り上げる場合には、一層深められるような配慮と工夫が必要。
- ⇒ 同じ内容項目を指導する際には、前年度の指導を本年度や次年度の指導の中に発展させる。

前年度と同じ授業になっていませんか？

## 9 礼儀

(小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編)

〔第1学年及び第2学年〕

気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。

〔第3学年及び第4学年〕

礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。

〔第5学年及び第6学年〕

時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。

(中学校)

[礼儀]

礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。

- 低学年 ⇒ 「礼儀」という語が使われていない  
挨拶や言葉遣い、動作などの具体例、「明るく」
- 中学年 ⇒ 「明るく」から「真心」へ
- 高学年 ⇒ TPO (Time, Place, Occasion) の視点
- 中学校 ⇒ 「礼儀の意義」を扱う、なぜ礼儀は必要なのか?の問い

発達段階を踏まえた授業になっているか

## 道徳科の内容

## 20 自然愛護

(小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編)

〔第1学年及び第2学年〕

身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。

〔第3学年及び第4学年〕

自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。

〔第5学年及び第6学年〕

自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。

(中学校)

[自然愛護]

自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。

### ■自然の捉え方

- 低学年 ⇒ なし
- 中学年 ⇒ すばらしさや不思議さ
- 高学年 ⇒ 偉大さ
- 中学校 ⇒ 崇高さ

### ■自然愛護の意義

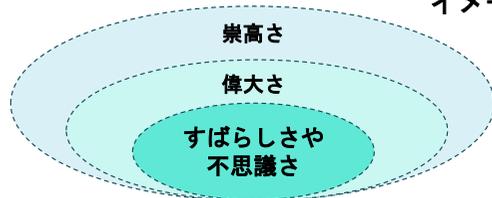
- 小学校 ⇒ なし
- 中学校 ⇒ 大切にすることの意義

発達段階を踏まえた授業になっているか

### ■自然の捉え方

- 低学年 ⇒ なし
- 中学年 ⇒ すばらしさや不思議さ
- 高学年 ⇒ 偉大さ
- 中学校 ⇒ 崇高さ

### イメージの例

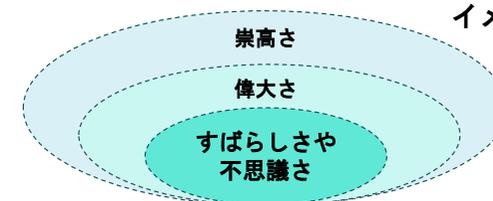


【例】「すばらしさや不思議さ」にはなくて「偉大さ」にあるものとは？

【例】「偉大さ」にはなくて「崇高さ」にあるものとは？

## 道徳科の内容

### イメージの例



#### ●小学校

- 人間も地球に住む生物の一員であり、環境との関わりなしには生きていけない存在
- 人間の力を超えた自然の驚異は、その不思議さととどまらず、偉大なる自然の前に人間の無力さを見せつけられることもある

#### ●中学校

- 自然の力のすさまじさと人間の力の限界を理解し、人間の力を超えた自然の崇高さを感性和理性の両面で捉える
- 自然を美の対象としてだけではなく、畏敬の対象として捉えさせることが大切。阪神・淡路大震災、東日本大震災などの災害の事実の理解から自然に対する人間の有限性を考えさせるなど、事実や事象の知的な理解を基にしながら、自然の中で生かされていることを謙虚に受け止める感性を高めることに留意

## 道徳科の内容



## 道徳科の指導

中学校第3学年  
特別の教科 道徳



意見が対立する事例を考える際に、自分の考えを端末上で可視化し、自分とは異なる考えの生徒と対話することで考えを深める。

## 道徳科の指導

小学校第3学年  
特別の教科 道徳



友達関係に関わるアンケートに答え、その集計結果から自分と友達の考え方の違いを認識し、主題に関わる問題意識をもつ。

## 道徳科の指導

### 問題解決的な学習とは

生徒が学習主題として何らかの問題を自覚し、その解決法についても主体的・能動的に取り組み、考えていくことにより学んでいく学習方法

### 道徳科における問題解決的な学習とは

生徒が生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習

それらの問題や課題は、多くの場合、道徳的な判断や心情、意欲に誤りがあったり、複数の道徳的価値が衝突したりするために生じるもの

実際に起こっている問題を解決することが学習の目的ではない

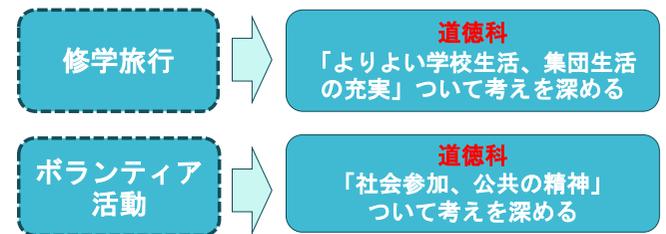
問題を解決する過程の中で道徳的価値について考え、道徳性を養っていくことが目的

## 問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導

## 道徳科の指導

## 道徳的行為に関する体験的な学習等を取り入れる工夫

⇒ 道徳的価値を意図した実践活動や体験活動が計画的に行われている場合は、そこでの生徒の体験を基に道徳科において考えを深めることが有効



⇒具体的な道徳的行為の場面を想起させ追体験  
⇒道徳的行為の難しさについて語り合う  
⇒生徒たちが見聞きしたすばらしい道徳的行為を出し合う



## 道徳科の指導

特別活動における学級や学校生活における集団活動や体験的な活動は、日常生活における道徳的な実践の指導を行う重要な機会と場

⇒ 読み物教材等を活用した場合には、その教材に登場する人物等の言動を即興的に演技して考える役割演技など疑似体験的な表現活動を取り入れる

単に体験的行為や活動そのものを目的として行うのではなく、**体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるようにすることが重要**

## 道徳的行為に関する体験的な学習等を取り入れる工夫

## 道徳科の指導

## 情報モラルに関する指導

- (例) インターネット等に起因する心のすれ違いなどを題材とした「**思いやり**、**感謝**」や「**礼儀**」に関わる指導
- (例) インターネット上の法やきまりを守れずに引き起こされた出来事などを題材として「**規則の尊重**」に関わる授業を進める
- (例) インターネット上のルールや著作権など法やきまりに触れたりすることを通して「**遵法精神**、**公德心**」について理解を深める

相手の顔が見えないメール



顔を合わせての会話



違いは何だろう？

メールなどが相手に与える影響とは？

問題の根底にある「他者への共感や思いやり」「法やきまりのもつ意味」などについて、生徒が考えを深めることができるようにすることが重要 **道徳的価値の理解**

情報機器の使い方やインターネットの操作、危機回避の方法やその際の行動の具体的な練習を行うことにその主眼をおくのではないことに留意

## 現代的な課題の例

食育、健康教育、消費者教育、防災教育、福祉に関する教育、法教育、社会参画に関する教育、伝統文化教育、国際理解教育、キャリア教育などの教育課題

各教科、**総合的な学習の時間及び特別活動などにおける学習と関連付け**、それらの教育課題を主題とした教材を活用するなどして、様々な**道徳的価値の視点**で学習を深め、人として他者と共によりよく生きる上で大切なものとは何か、自分はどのように生きていくべきかなどについて考えを深めていく。

科学技術の発展に伴う生命倫理の問題

社会の持続可能な発展に関する問題

葛藤対立

効率性 vs 人間性

利便性 vs 持続可能性

生命や人権、自己決定、自然環境保全、公正、公平、社会正義など様々な**道徳的価値に関わる葛藤や対立**

「相互理解、寛容」、「公正、公平、社会正義」、「国際理解、国際貢献」、「生命の尊さ」、「自然愛護」

## 道徳科の指導

## 現代的な課題の扱い

## 道徳科の評価

- ⇒ 道徳科において養うべき**道徳性は、生徒の人格全体に関わるもの**数値などによって不用意に評価してはならない
- ⇒ 道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする**人格的特性**であり、道徳的判断力、道徳的心情、道徳の実践意欲及び態度を諸様相とする**内面的資質**  
このような道徳性が養われたか否かは、容易に判断できない
- ⇒ 道徳性は、生徒が将来いかに人間としてよりよく生きるか、いかに諸問題に適切に対応するかといった**個人の問題**に関わるもの中学校の段階でどれだけ道徳的価値を理解したかなどの基準を設定することはふさわしくない
- ⇒ 生徒の成長を見守り、**努力を認めたり、励ましたりすること**によって、生徒が自らの成長を実感し、更に意欲的に取り組もうとするきっかけとなるような評価を目指す  
評価に当たっては、**個人内の成長の過程を重視**すべき

⇒ **認め、励ます個人内評価**

## 道徳科の評価

- ⇒ 学習活動における生徒の具体的な取組状況を、一定のまとまりの中で、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を適切に設定しつつ、学習活動全体を通して見取る
- ⇒ 個々の内容項目ごとではなく大きくくりなまとまりを踏まえた評価
- ⇒ 他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行う



- ⇒ 発表が上手にできていたか
- ⇒ 感想が文章として上手に書けていたか
- ⇒ 的確に伝わる工夫あるプレゼンだったか

学習活動  
の評価

いかに道徳的価値の理解を深めようとしていたか、自分との関わりで考えたか、などの道徳性の成長の様子を評価

## 道徳教育推進教師の役割

各学校においては、道徳教育の全体計画を作成し、校長の方針の下に、道徳教育の推進を主に担当する教師（以下「道徳教育推進教師」という。）を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開すること。

- ⇒ 校長が適切に任命する
- ⇒ 道徳教育推進教師の研修
- ⇒ 近隣の学校の道徳教育推進教師との連携等

### 道徳教育推進教師の役割

学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進する上での中心となり、全教師の参画、分担、協力の下に

## 道徳教育推進教師の役割

### 道徳教育推進教師の役割

学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進する上での中心となり、全教師の参画、分担、協力の下に

- ・ 道徳教育の指導計画の作成に関すること
- ・ 全教育活動における道徳教育の推進、充実に関すること
- ・ 道徳科の充実と指導体制に関すること
- ・ 道徳用教材の整備・充実・活用に関すること
- ・ 道徳教育の情報提供や情報交換に関すること
- ・ 道徳科の授業公開など家庭や地域社会との連携に関すること
- ・ 道徳教育の研修の充実に関すること
- ・ 道徳教育における評価に関すること **など**